CASBEE 大阪 みらい 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル：CASBEE大阪みらい（新築）　▌使用評価ソフト：「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.4)

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)大阪(御堂筋)ホテル新築工事計画
建設地	中央区淡路町3丁目
建物用途	ホテル・公衆浴場
建築主	
設計者	
竣工年	2028年4月　予定
構造/階数	RC造　/　地上12階
敷地面積	480.35 ㎡
建築面積	309.04 ㎡
延床面積	3024.97 ㎡

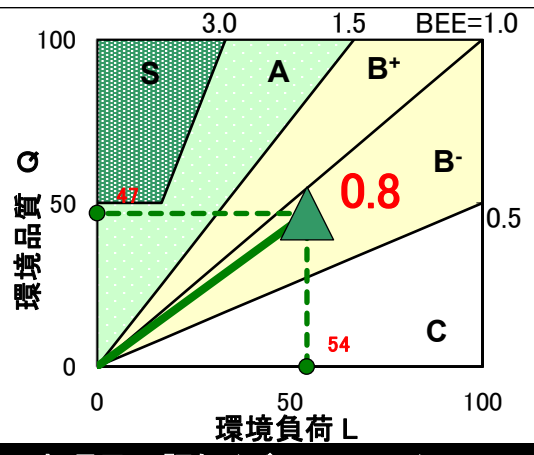
1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEﾗﾝｸ&ﾁｬｰﾄ)

B-

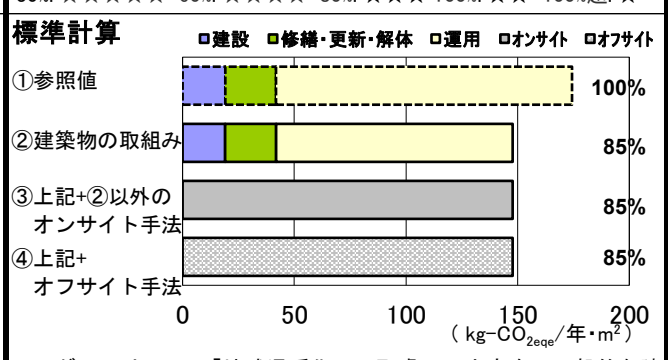
BEE = 0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



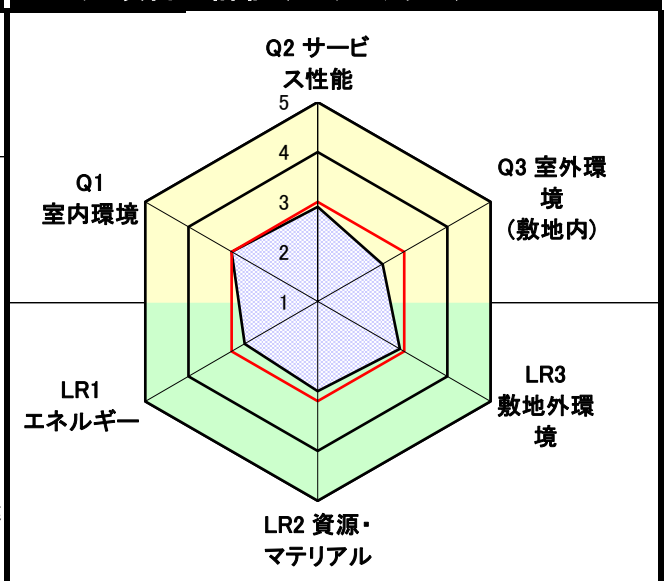
2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響ﾁｬｰﾄ)

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC 排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ)

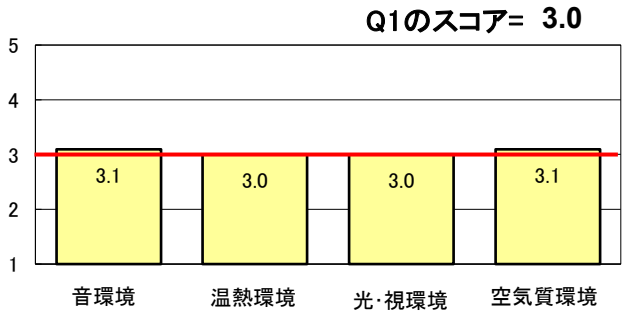


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.8

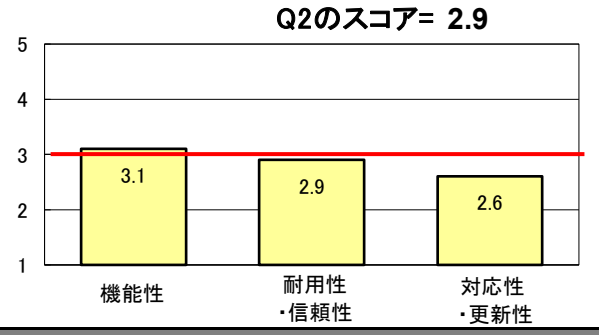
Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0



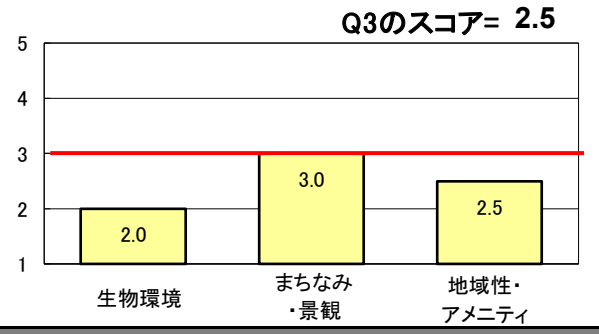
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9



Q3 室外環境（敷地内）

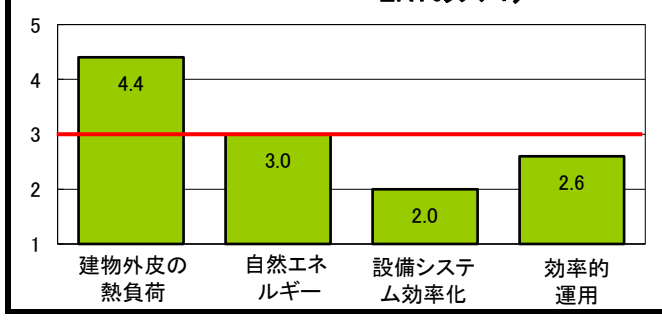
Q3のスコア= 2.5



LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 2.8

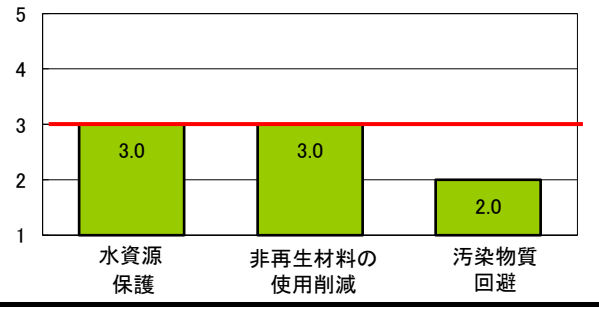
LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.7



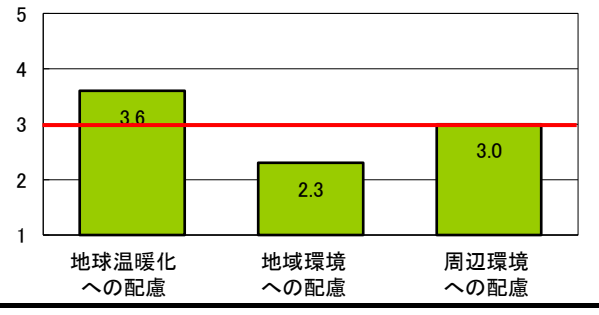
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8



LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9



3 設計上の配慮事項

総合

都市型ホテルとして、宿泊者の快適性・安全性を確保しながら、建物外皮性能の向上や設備の省エネルギー化、耐久性への配慮等により、建物のライフサイクルを通じた環境負荷の低減を図った計画とした。

その他

建設工事において発生する建設副産物について、分別収集および再資源化を推進し、最終処分量の削減に努める。また、施工段階における資材の適正使用や梱包材等の廃棄物削減を考慮した。

Q1 室内環境

適切な室温・湿度・換気・照度を確保し、ホテル利用者の快適な室内環境の形成に配慮している。また、客室等の開口部から自然光を取り入れるとともに、内装材については化学汚染物質の発生抑制に配慮した計画とした。

Q2 サービス性能

ホテルとして必要な機能性・安全性を確保するとともに、建築・設備の耐久性、信頼性および維持管理のしやすさに配慮した計画としている。設備機器等については、点検・更新を考慮した配置・スペースを確保した。

Q3 室外環境（敷地内）

都市部の限られた敷地条件の中で、周辺の建物や街並みとの調和に配慮した外観計画とし、道路や隣接敷地との関係を考慮しながら、歩行者等に圧迫感を与えない外部空間とした。

LR1 エネルギー

外壁・屋根・開口部等の断熱性能を確保することで建物外皮からの熱負荷を抑制するとともに、高効率な空調・換気・給湯・照明設備を採用し、建物全体の一次エネルギー消費量の削減を図った。

LR2 資源・マテリアル

建築材料の合理的な使用により資源消費の抑制を図るとともに、再生材等使用した建材の採用した。また、人体や環境への影響に配慮し、有害物質の使用抑制や適切な材料選定した。

LR3 敷地外環境

建物の省エネルギー化によるCO_2排出量の削減を図るとともに、設備機器からの騒音・振動、排気、排熱、光害等が周辺環境へ与える影響の低減に配慮した計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示　結果〔重点評価〕

総合評価BEE　=　0.8

ラベル表示



環境性能		評価点	
(1)CO2削減		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR3/ 1 /　/	地球温暖化への配慮	3.6	
配慮事項			

環境性能		評価点	
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0	
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能			概要記入欄
Q3 / 1 /　/	生物環境の保全と創出	2.0	
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	2.0	
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0	
配慮事項			

環境性能		評価点	
(3)建物の断熱性		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 1 /　/	建物の熱負荷抑制	4.4	
配慮事項			

環境性能		評価点	
(4)エネルギー削減		2.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 3 /　/	設備システムの高効率化	2.0	
配慮事項			

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令（以下、「省令」という）」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

	住宅部分（品確法等級）		非住宅部分[BPI][BPIm]
外皮性能	-	（相当）	0.86

	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEIm]
一次エネルギー消費量	-	0.80